高精度偽造券情報　連邦準備券$50 SERIES2017

2025年5月発見場所不明、紙幣鑑定機を通過する高精度偽造券が出現しました。肖像画他のデザインはオフセット印刷で、記番号は今のところ PB93～、KL80～、BK67～、MA4～が発見されています（複数箇所で10枚程）。手触りはツルツルする感じで違和感があり、しかしながら、表面右下の OVI（Optical Variable Ink）光学可変インクは本物に近いできばえです。見た目の色合い等は真正券と全く同じです。磁気インクが使われているため、紙幣鑑定機については日本 CDR 製品では、NC3000型及び1年以上ソフトウェアのバージョンアップをしていない NC6500型は通過する可能性があります（ソフトウェア開発中。他社メーカー未確認）。

過去に国内で発見された偽造米ドルは殆どが100ドル券であり、用心されず流通させやすいことと、収益性が確保できることから50ドル券の偽造が造られたとの見方がなされています。インバウンド復活、円安基調、大阪・関西万博開催の日本がターゲットになったと思われ、すでに大量流入している可能性も否定できません。未対応の紙幣鑑定機については、対策ソフトによるバージョンアップが必要になります。当面は50ドルの両替取引にはご注意ください。本書を参考に視認鑑定を行ってください（厳重部外秘情報）。

１．可視光線画像

１）偽造券（検体）

PB93270449C

SERIES2017

（発行年度）

色合いは真正券と殆ど変わらない。

２）真正券（参照用）

SERIES2013

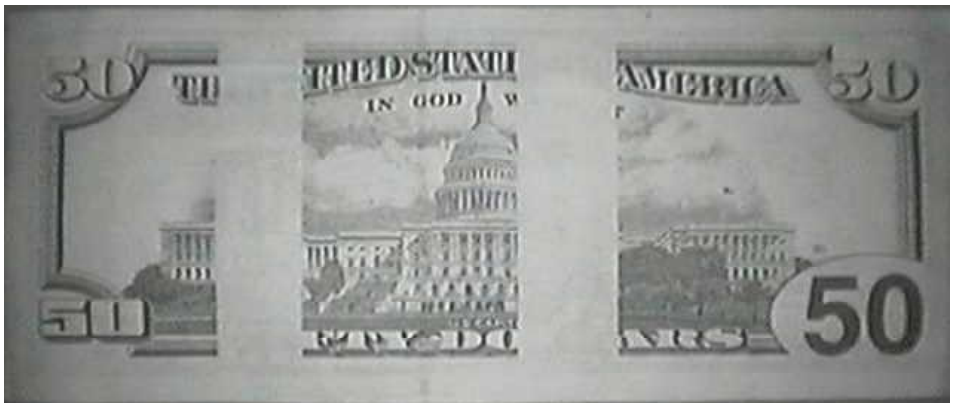
（発行年度）

※ご注意：本書を印刷すると、照会標本とした上記真正券が印刷できない場合があります。原因はスキャナーやプリンターに設定された偽造防止ソフトがはたらくためで、そのような場合は、日本CDRにお知らせください。（TEL03-3541-1951　info@cdrjapan.co.jp）

２．赤外線画像

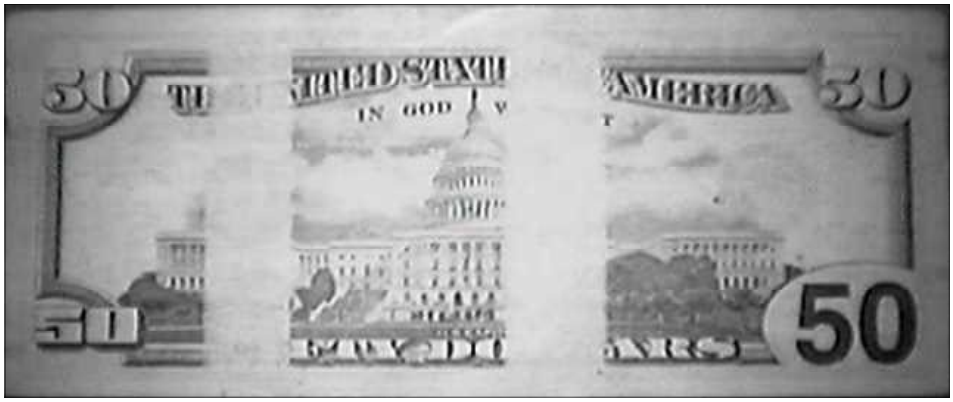
１）偽造券

かなり明瞭に縦方向に2本のストライプが確認される。



２）真正券

縦方向に画像が消えて2本のストライプがくっきりと視認できる。



３．紫外線画像

１）偽造券

肖像画右縦方向のセキュリティスレッド部分に蛍光発色を示すがやや鈍い。

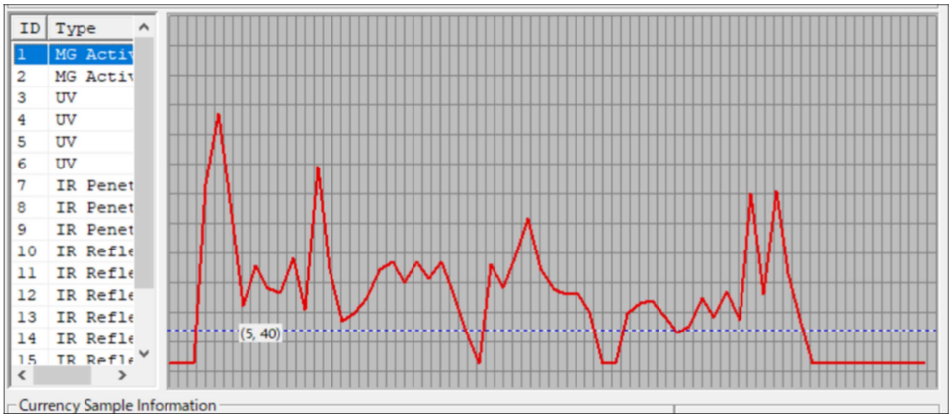
２）真正券

蛍光発色が鮮明である。Version違いで文字が浮かび上がる真正券もある。

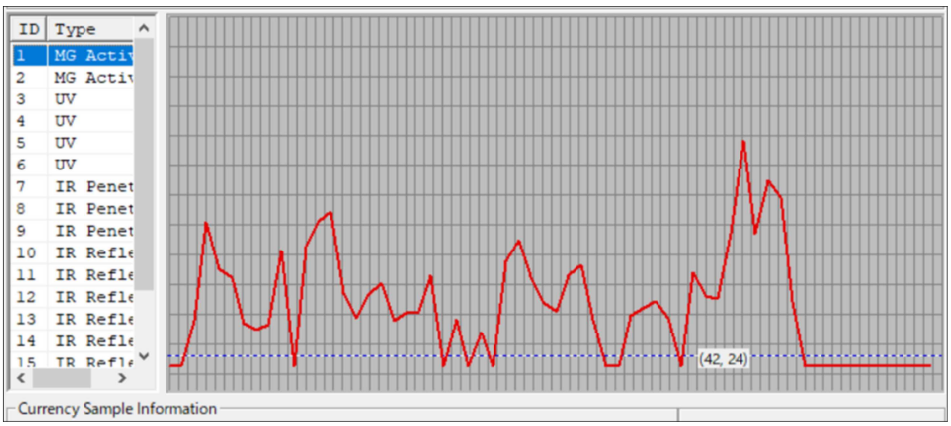
４．磁気反応グラフ

１）偽造券

紙幣の左右方向にデータサンプリングすると磁気ゲインに近似が発生している。



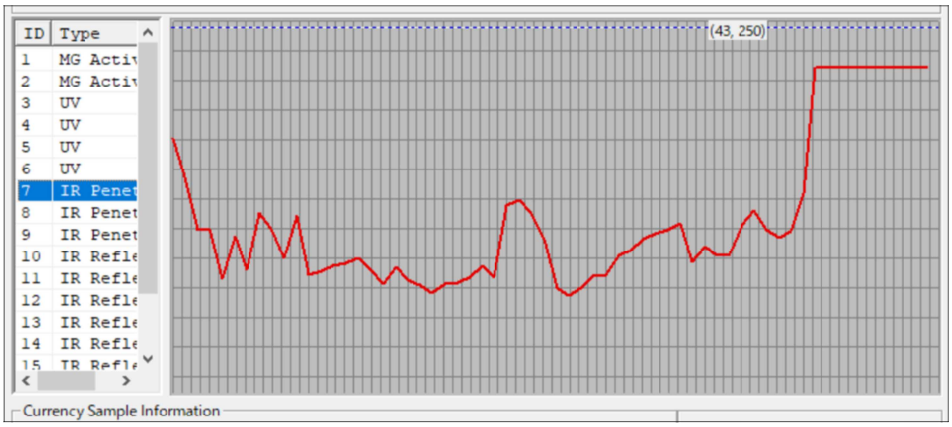
２）真正券



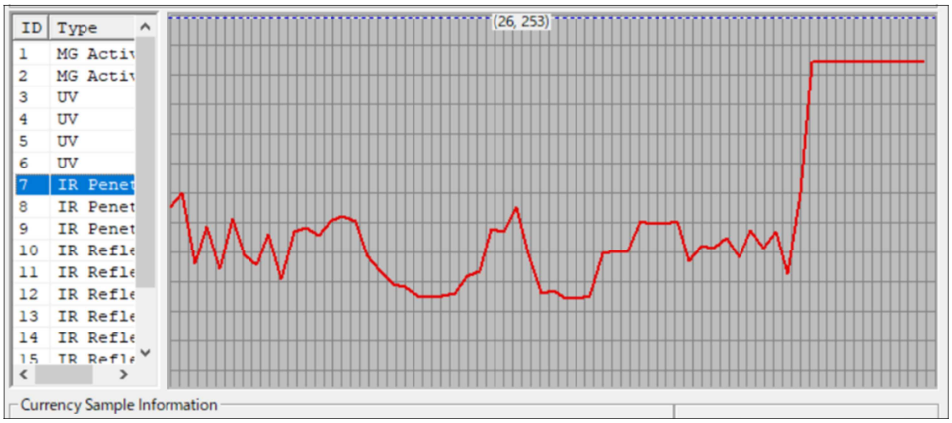
５．赤外線反応グラフ

１）偽造券

近似値が発生している。



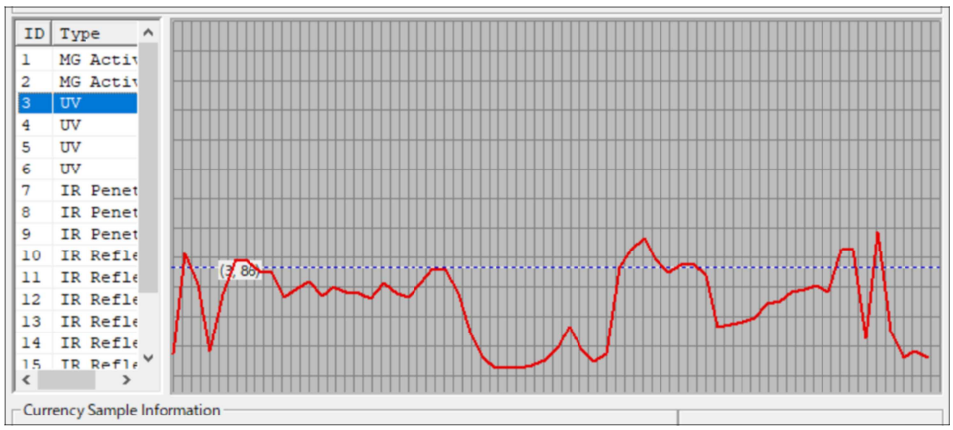
２）真正券



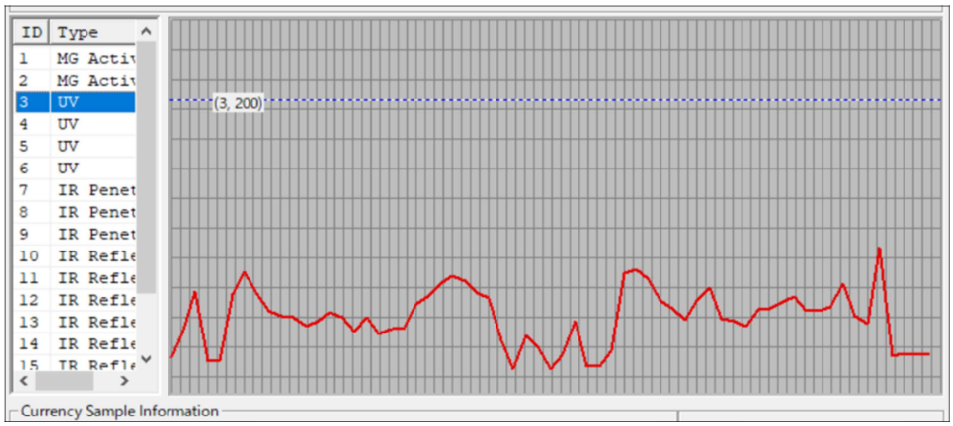
６．紫外線反応グラフ

１）偽造券

近似値が発生している。



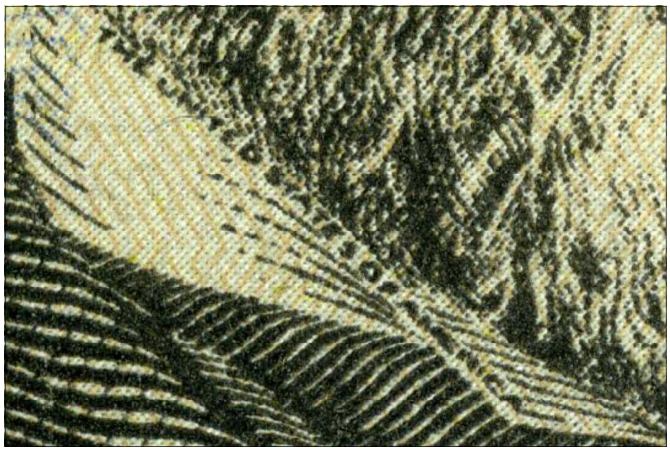
２）真正券



７．マイクロ文字

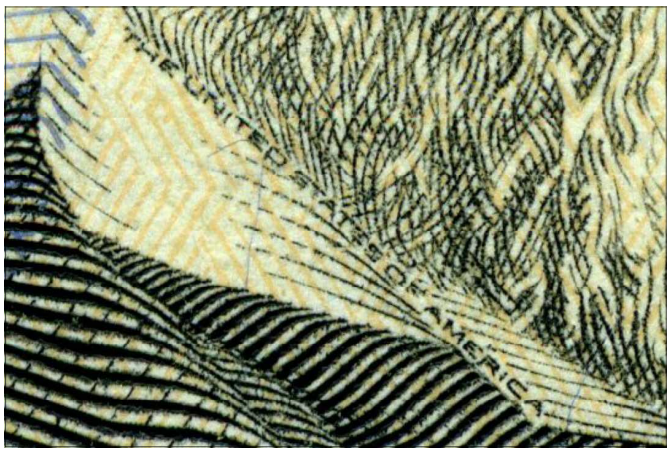
１）偽造券

偽造券では、画線が太く不鮮明。S、E、A、M はつぶれて再現されていない。ひげの部分も画線が癒着し完成度が低い。



２）真正券

第18代アメリカ合衆国大統領ユリシーズ・グラントの肖像画の襟に「THE UNITED STATES OF AMERIC」のマイクロ文字が見られる。



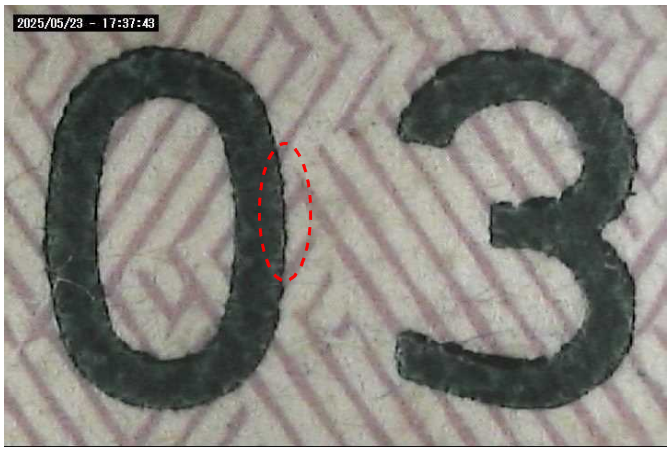
８．紙幣記番号

１）偽造券

偽造券はメリハリが感じられず、網点スクリーン印刷で再現されている可能性が高い。

２）真正券

インクがはみ出した凸版印刷ならではのマージナルゾーンが見える。（赤丸部分）。



９．混抄繊維

１）偽造券

着色混抄繊維が全く見られない。$50は余白部分に幾何学模様が地紋のように印刷されているため、発覚しにくくコストダウンをはかってか施工が省略されている。

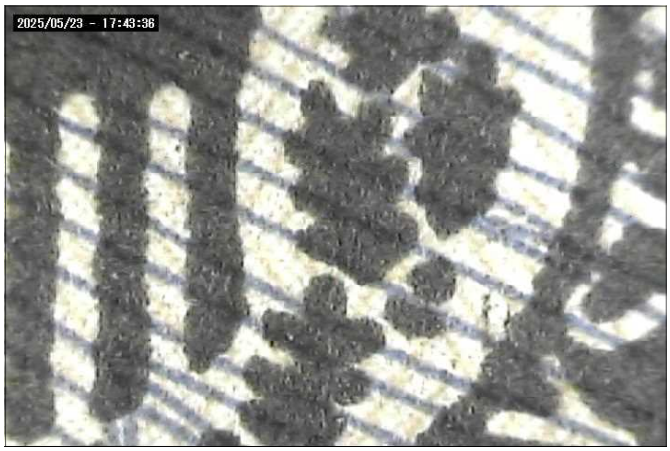
２）真正券

真正券では、赤・青の着色混抄繊維が用紙全体に抄き込まれている

10．連銀ホールマークの印刷版式

1）偽造券

平版印刷のため、真正券に見られるマージナルゾーンが見られない。メリハリが感じられず、眠気をさそう出来映えである。



2）真正券

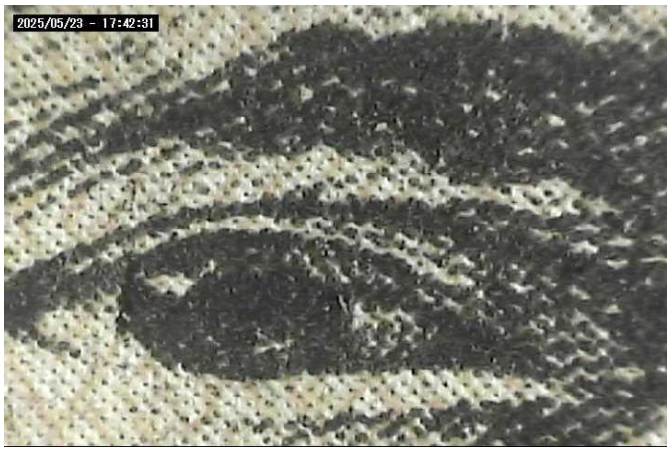
真正券はこの部分は、凸版印刷であり、記番号と同様にマージナルゾーン（赤丸）が形成されている

。

11．目が死んでいる？（偽造鑑定の定石）

1）偽造券

微細印刷の再現ができず同心円状の円弧が描けていない。そのため目が死んだように見受けられる。



2）真正券

真正券特有の同心円状凹版印刷及びまつげまでクリーンに印刷されている。目が生き生きと感じられる。

12．OVI（Optical Variable Ink）光学可変インク

１）偽造券

変色はするものの、色合いが異なる。
真正券よりやや濃い緑色に変化する。
黄金→濃い緑

紙幣束を親指でパラパラめくる残像鑑定がおすすめです。

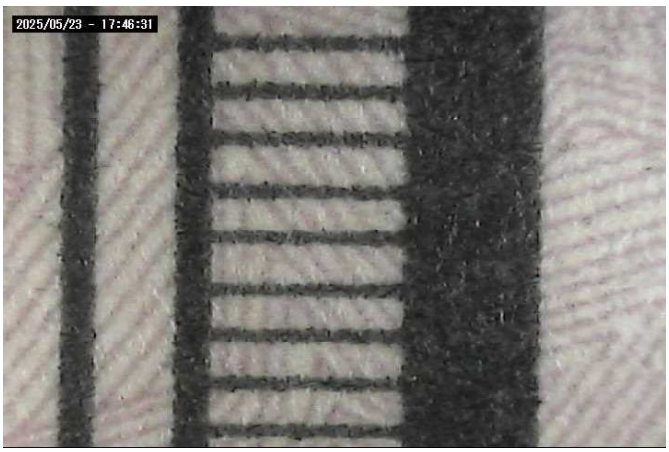
２）真正券

真正券表面右下の金種マーク「50」は正面から正体視すると茶褐色に見え、傾斜視認では黄緑色に変色する。
黄金→黄緑

13．微細印刷

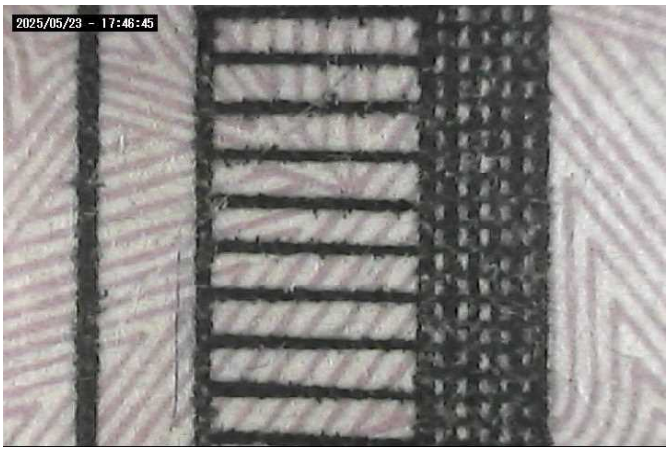
１）偽造券

微細印刷は、偽造券では画線がつぶれて格子縞の体裁をなしていない。



２）偽造券

真正券では微細印刷としての格子縞が見られる。



令和７年５月２４日　作成（偽造通貨対策研究所）

https://www.gizoutaisaku.com/SERIES2017usd50.pdf